

新潟市會津八一記念館指定管理者 平成23年度事業計画書

、事業の実施に関する業務

年間事業計画（詳細は別紙）

（1）展覧会事業

企画展「中国 古俑の世界～八一憧憬・高島コレクション」

4月15日（金）～6月22日（水）58日間

企画展「戦争と八一」

7月 3日（日）～9月 4日（日）54日間

特別展 會津八一生誕130年・没後55年記念

「會津八一 VS 北大路魯山人～傲岸不遜の芸術家～」

9月16日（金）～11月30日（水）65日間

収蔵品展「會津八一の歌を映す」第5回写真コンテスト入賞入選作品展

12月20日（火）～平成24年3月25日（日）76日間

（2）イベント事業（書籍、常設展、特別展PR）

「會津八一の歌を映す」第5回秋草道人賞写真コンテスト

記念館の書籍「會津八一 悠久の五十首」を4月に改訂版を刊行。第5回は記念として課題部門と自由部門の2部門制とした。課題部門は選別した7首の短歌、自由部門は他の43首を応募者が選びかたち。歌の心象風景を反映した写真を広く全国に向け公募している。写真を通じて會津八一の業績を普及し、文学と映像との融合に挑戦。授賞式・講評会、公開対談会も実施予定。

春の企画展「中国古俑の世界」関連講演会

5月14日 講師：大阪市立東洋陶磁美術館 出川哲朗館長

夏の企画展「戦争と八一」関連講演会

7月24日 講師：喜多 上氏（文芸評論家）

八一祭記念講演会

8月1日（講師 京都大徳寺塔頭松源院 泉田宗健住職）

特別展記念講演会

10月15日 演題「北大路魯山人先生にお仕えして」

講師 辻義一さん（懐石「辻留」主人）

（3）館長講座「映画にみる芸術家の生涯」

5月28日（土）「炎の人」とヴァン・ゴッホ

6月25日（土）ロートレックと「ムーランルージュ」

- 7月23日(土)「モンパルナスの灯」とモジリアニ
- 9月24日(土)フェルメールと「真珠の首飾りの少女」の真実
- 10月14日(金)「カラヴァッジオ」その天才の光と影
- 11月26日(土)ミケランジェロの「華麗なる激情」

(4) 書籍、ビデオ、DVDを持参した学校・公民館等への出前講座  
新潟市内外の公民館、生涯学習団体等、教職員グループから要請が少しずつ増加しており、依頼のあるところから実施する。

(5) その他の事業  
学習講座、鑑定会などの実施

、施設運営に関する業務

(1) 平成23年度目標

観客者数 7900人(前年度実績を800人余増加めざす)  
観覧料収入 2,800,000円(前年度30万円増めざす)

(2) 人材育成

上部団体も研修会に積極的に派遣する  
休館中には奈良を中心に八一の足跡を訪ねる研修に参加する  
他館の学芸員との交流の推進

(3) ホームページの活用

展示やイベント、講座などの行事を随時発信する。また学芸員のブログを毎週更新し、館内外の活動や様子、感想を親しみやすく発信する。

(4) 収蔵品の整理

ボランティアによる書簡6000通の解読と整理の継続

、その他

(1) 自己評価

入館者アンケートの継続実施  
月間入館者数の統計による企画の点検  
館長講演会、各種講演会、講座の参加数及び反応による点検

、収支予算書(別紙参照)